

《令和7年度 P D C A サイクル実施計画・管理表》

令和8年3月末 現在

施設名	P 実施計画				実施管理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D	C 評価		A 改善	
					実行	区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
看護部	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	1. がん医療・看護の均てん化に取り組んでいる今、最新のがん治療や専門的ながん看護、緩和ケアに関する研修を通し、更なるがん医療・看護の発展を目指す。そして、より専門的ながん医療・看護に関する知識やスキルを持った看護師を育成する必要がある。	<p>○がん診療連携拠点病院として、「がん看護コアナース育成セミナー」をオンラインで開催する。加えて希望者には体験研修を受け入れる。</p> <p>がん治療は日々進化し、治療の選択肢が拡大し、その組み合わせなども複雑化している。更に、がん患者も多様化し、個人のニーズに即した意思決定支援は難しく現場の看護師は日々困難さを感じている。よって、意思決定支援をテーマとし、より多くの看護師の育成につながる企画とする。</p> <p>昨年度に引き続き、3日間のWEBでの講義とGWの構成を基本とし、体験研修をPRし、拡充を図る。受講できる日だけ半日で受講したいという声もあるため、半日での参加も可能とし、より多くの方が参加できる機会となるよう企画した。</p> <p>テーマ：多様化するがん患者の一人ひとりの力を信じ、その力を引き出し、高める意思決定支援 講師：がん看護CNS×2名、緩和ケアCN、認知症看護CN</p>	令和7年 11月～ 12月	○	達成	<p>・昨年度と同様にオンライン研修に加え、体験研修の受入れを行った。がん看護に携わる看護師24名（院外15名、院内9名）が参加し、体験研修の希望者は9名であった。体験研修では全員が希望部署で研修を実施することができた。参加者からは、実際にごんセンターでの看護を体験でき、非常に有意義であったと前向きな意見が聞かれた。</p> <p>・オンライン研修は勤務終了後でも参加できるよう、ZOOMを使用して行った。参加者は最後まで熱心に聴講されていた。</p> <p>・今年度はオンライン研修全3回のうち1回のみ参加も可能とし、24名の希望者があった。全ての研修に参加した15名に修了書を交付した。</p> <p>・参加者のがん看護の経験にはバラつきがあったが、第3回事例検討においては、各グループにファシリテーターを配置したことで、全員が発言し、活発なディスカッションが行えた。また、事前課題としていた事例を事前配布していたため、グループワークの事例紹介がスムーズに行えた。全体共有の時間を30分と昨年より長く設定したことで、各グループの具体策を全体で十分に共有することができた。</p> <p>以上より、参加者のがん看護実践能力の向上に役立つ研修になったと評価する。</p>	継続	今年度と同様に、希望者の見学実習(1日)と遠方や仕事終わりの参加のしやすさを考慮し、リモートによる3回構成の研修として開催する。 また、「日常ケアに潜む倫理的問題」を題材に、看護実践の中で感じる倫理的問題についてみんなで考える研修企画とする。
		2. がん専門病院として最新の治療に対する看護実践力を向上させる必要がある。	<p>○専門・認定看護師が緊密に連携し、その専門性を融合することでより質の高い看護を提供することを目指す。</p> <p>1) CNS・CN会を4グループ(教育委員会コラボ研修G、看護の質向上G、次世代育成G、ドレーン・ライン管理G)に分け、より活発な委員会活動を行う</p> <p>2) CNS・CN会を活用し、がん患者指導管理料取得数増加をはかる</p> <p>3) CNS・CNの活動を広報やシャドーイング研修を通して積極的にアピールすることで、スペシャリスト看護師を目指す人材を育成する</p>	CNS・CN会は 年10回 研修は 9月～ 11月	○	概ね達成	<p>ジェネラリスト看護師のニーズに合った研修を企画・運営するために、CNS・CN会を活用し、より高度な知識と看護実践能力を持ったジェネラリスト看護師の人材育成に積極的に参画した。</p> <p>「がん看護実践編研修」は院外看護師も受入れ、ACP、口腔ケア、AYAをテーマに3つ開催し、延べ34名の看護師が参加した。また、アンケート結果から研修での学びを現場での実践につなげることができたと評価する。</p> <p>シャドーイング研修には5名の看護師が参加し、自身のキャリアを考える機会となった。</p>	継続	CNS・CN会の活動は継続し、より高度な知識と看護実践能力を持ったジェネラリスト看護師の人材育成に参画していく。 また、令和8年度の診療報酬改定を鑑み、がん相談支援センターとの更なる連携強化に取り組む。そして、より質の高い患者支援を行うことで、がん患者指導管理料の取得増加に努めていく。

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。